

中学校での防災教育

キーワード

学校教育・中学校

こんな方におすすめ

防災教育のための時間が1時間程度しか確保できない
中学生を対象に防災教育を学ばせたい

EVAGを使用した授業の流れ

- ①集中豪雨時のドライブレコーダーの映像を視聴する。
- ②過去の大型台風により土砂災害が起きた際の映像を視聴する。
- ③注意報と警報と特別警報の違いを学ぶ。
- ④集中豪雨時の属性カードの人物の避難行動を考える。

必要なもの

EVAGセット

- ・EVAGタウンマップ
- ・属性カード

そのほか

- ・集中豪雨や大型台風の映像
- ・付箋
- ・筆記用具



横浜市の中学校の先生にヒアリングしました

| | | | |
|------------|-----------------|-------------|--------------------|
| 目的 | 共助と避難行動について考える。 | 所要時間 | 50分（特別活動・理科の授業で実施） |
| 場所 | | | 教室、図書室 |
| 参加者 | | | 中学1年生、2年生 各回40名程度 |

中学校教員が工夫した点

- ・EVAGは中学生にとって難しいルールもあるので、「属性カード」と「EVAGタウンマップ」のみを使用した。
- ・避難行動について考える際に「属性カードの人になりきってください」ではなく、「属性カードの人だとどのように考えると思いますか？」と問うことで、生徒が属性カードの人の避難行動を考えやすくなるよう工夫した。
- ・生徒から質問があった時に答えられるように、授業の事前準備として、すべての属性カードの人が「避難場所をどこにすれば安全か」を考えた。